

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-507106(P2001-507106A)

【公表日】平成13年5月29日(2001.5.29)

【出願番号】特願平10-526358

【国際特許分類第7版】

F 1 6 B 1/00

B 0 9 B 5/00

【F I】

F 1 6 B 1/00 Z A B Z

B 0 9 B 5/00 Z A B Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月7日(2004.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年12月 7日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第526358号



2. 補正をする者

氏名(名称) ブルネル・ユニバーシティ

3. 代理人

住所

〒540-0001

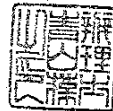
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル

青山特許事務所

電話 06-6949-1261 F A X 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり。

請 求 の 範 囲

1. 第1および第2部分のひとつに対して接合される分離可能なファスナー器具(36、38)により互いに接合され得る第1および第2部分(30、32)を包含している部品のためのアセンブリーであって：

分離可能なファスナー器具が形状記憶材料を包含しかつねじ付き雄要素(34)と係合可能な雌要素(38)の形をしており、雌要素(38)が雄要素(34)の係合領域を把持可能な係合領域を備えかつ形態遷移時に半径方向緊張形態から緩められた非緊張形態へ変更操作可能であり、上記係合領域のひとつがねじ付きであるものにおいて；

上記係合領域のひとつからの形態の変更が係合領域を他の係合領域から解放するように半径方向可動に構成されて雄領域と雌領域(38)の間の係合を緩めかつ雄要素(34)を雌要素(38)からねじ戻すことなく自由に引き抜き得るようにすることを特徴とする、物品のためのアセンブリー。

2. 形状記憶材料が雌要素(38)上の係合領域の断面形状を概ね卵形から概ね円形に変えて断面の最小半径寸法を増しかつそれにより雄要素(34)を解放するように作動させられる、請求項1に記載の物品のためのアセンブリー。

3. 雌要素(38)が概ね環状部材を包含し、かつ形状記憶材料が形態遷移時に雌要素(38)を概ね軸方向に延ばしかつ同時に雌要素の内径を拡大し、これにより雄要素(34)とのねじ係合を緩め、かつ軸方向の分離力を生じさせる、請求項2に記載の物品のためのアセンブリー。

4. 形状記憶材料のねじ付き係合領域は雄要素(34)のシャンク上に設けられている、請求項1に記載の物品のためのアセンブリー。

5. 形状記憶材料がシャンクの断面形状を概ね卵形から概ね円形に変えて断面の最小半径寸法を減しかつそれにより雌要素(38)との係合を回復するように作動させられる、請求項4に記載の物品のためのアセンブリー。

6. 形状記憶材料が形状記憶ポリマーである、上記何れかの請求項に記載の物品のためのアセンブリー。